

河合塾 第2回 小論文特別講義

(進学指導重点校事業)

平成31年1月31日(木) 13:30~15:00

講師：河合塾国語科・小論文科講師 大田裕二 先生

大学入試センター試験が終わり、国立大学の出願検討の中、一歩でも先に対策を進めようと、二次試験で小論文試験のあるみなさんに、河合塾より講師を招き、第2回小論文特別講義が実施されました。参加生徒は事前課題や志望校の過去問に取り組み、講義ではメモを取りながら真剣に話を聞いていて、受験への意欲がより高まったようでした。



*前の小論文講座で教えてもらった原稿の使い方を忘れてしまっていたので、思い出すことができ良かったです。2025年問題について、試験の前にもっと調べておこうと思いました。文章を長く書こうと思って、自分の思っていることをひたすら書いて、少し離れたことを書いてしまうことが多いので、これから気をつけようと思いました。個人で書いたものについて教えてもらったのが、とても良かったです。直してもらった時に、自分がどれだけ理解していなかったのかが分かりました。もっと看護について、知らなければならぬと思いました。

*先生の教え方はとてもわかりやすく、問題文でもどこに注目すればよいのかを的確に指示してくださったので、とても良かったです。さらに小論文を読むに当たって、どの本を読めばいいのかわからなかったため、オススメしていただいた本を利用し、よりよい小論文を書きたいです。小論文を書くときは、自分が考えたことだけを書けばいいのではなく、専門的なことも合わせて書くことが必要だということ学びました。自分で書いたものも、どこがダメで何が足りないのかなどをアドバイスしていただき、次回また練習するときにもとても役立てられると思いました。

*今日の講義を聴いて、小論文の論述ポイントについてあらためて知ることができました。原稿用紙としての使い方と字数カウントのマスの使い方を混ぜてしまっていたので、今後は区別していきたいと思います。また、下線部の説明をするとき、下線部の周辺でまとめようとしがちだったけれど、文章をよく読んで該当部分を正確に読み取らなければならぬとわかりました。看護についての知識がまだ十分とは言えないので、本番までに本を読んだり、調べたりして、より多くの知識を身に付けたいと思いました。

*自分で一度解いた事前課題の個別指導をしていただいたことで、自分の小論文のどこが間違っていて、どのように直したら良いのかを把握することができたので、これから志望校の小論文を多く解いて、書き慣れるようにしていきたいと思いました。今回の事前課題では自分の文章で誤った認識をしていたことで、ほとんど点数にならないような小論文になってしまったので、これから読解力をもう少し付けて、医療系の知識を増やすことをしていきたいと思いました。